



国史跡指定をめざして 若杉山遺跡で発掘調査が進む

弥生時代末から古墳時代初頭の辰砂採掘遺跡として全国で唯一確認されている若杉山遺跡（水井町）で、発掘調査が進んでいます。8月21日から9月15日まで行われた一次調査では、遺跡内にある採掘坑口と少し離れた平場の2カ所を深さ5～55センチメートル掘り起こし調査を実施。調査地からは、石きね7点、石うす1点、辰砂原石10点以上を発見しました。今回の一次調査の結果を受け、二次調査が12月から行われます。若杉山遺跡の全容を明らかにし、平成31年の国史跡指定をめざします。

魅力のある商店街 繁盛店づくり研修会を実施

個店の集客力・販売力を高め、魅力のある商店街づくりを促進しようと、富岡商店街協同組合が「繁盛店づくり研修会」を行っています。10月6日の臨店研修では4店舗が参加し、中小企業経営の支援を行っているコンサルティング・パートナー“AUBE”代表の志賀公治さんから商品の配置や陳列、接客などについて実践的なアドバイスを受けました。参加した洋服・呉服販売店「松屋」の柴山郁子さんは、「お客さまに足を運んでいただける素敵な店になるよう工夫したいです」と話していました。



地場食材で非常食 「防災缶詰」を開発

新野町の食品加工会社「メグミフーズ」が、炊き込みご飯を缶詰にした「防災缶詰」を開発しました。缶詰はタケノコ、栗、梅干しの3種類で、米やタケノコなど地場食材を使い、災害時にすぐに食べられるように缶切りを使わずに開けられるプルトップになっています。防災缶詰は、岩浅市長が災害時にすぐに食べられておいしい非常食ができないかと同社に提案したものの。



大正大学地域実習2年目 学生が地域を考える

交流を通して地域課題を探ろうと、大正大学地域創生学部1年生7人が9月19日から10月31日まで富岡・新野地区で地域実習を実施しました。10月6日は新野木材（株）の新野哲朗社長に取材後、工場を見学。学生たちは熱心に質問していました。また、2年生は9月30日、10月1日に同大学で行われた催しで同社の「しいたけ侍」を使った商品などを提供し、好評を博していました。



地域で支えあう“いのち” 自殺予防フォーラムを開催

自殺予防のために、共に考え取り組んでいこうと「自殺予防フォーラム2017」が、9月15日に阿南保健所で開催され、約90人が参加しました（阿南保健所、保健センター主催）。講師の慶応義塾大学大学院講師の岡 檀さんは、日本で最も自殺率が低い町である旧海部町を実地調査した結果、生き心地の良いコミュニティには自殺の危険を軽減する因子があると伝えました。



秀樹さん（54歳）は、「関係機関と連携してテロを起こさせないようにしたいです」と話していました。

緊急事態に備えて 阿南駅でテロ対応訓練

駅構内でのテロ発生を想定した対応訓練が9月14日にJR阿南駅で行われ、駅員など約30人が参加しました（徳島県警、JR四国主催）。訓練は、駅構内に停車中の列車に不審者が化学薬品の入ったペットボトルを持ち込んだという想定で行われました。不審者の対応にあたった駅員は、乗客を車外に誘導し、阿南署に連絡。駆けつけた署員が不審者を取り押さえました。また、県警機動隊NBCテロ対策班3人がペットボトルの回収処理を行いました。駅長の矢野

阪大大学院が出前授業 「ちょっと先の未来を考える講座」を実施

市内の高校生に将来の可能性を広げてもらおうと、大阪大学大学院工学研究科の教員等による出前講座が9月30日に市役所市民交流ロビーで開催され、95人が参加しました。教員による専門的な授業や社会で活躍する卒業生の講話が行われました。住友優希さん（富岡東高校2年）は、「まちづくりに関心があり、将来学ぶためにも日頃から阿南市の良いところ目を向けながら生活したいです」と話していました。この講座は本市と同大学との連携事業の一環として実施され、10年目となる本年度は人材育成に主眼を置いた取組を展開しています。



レディースアンサンブルひまわり コーラス全国大会で受賞

第40回全日本おかあさんコーラス全国大会（全日本合唱連盟、朝日新聞社主催）が8月26日、27日に岡山シンフォニーホール（岡山市）で開催され、初出場の「レディースアンサンブルひまわり」が「おかあさんコーラス賞」と「選考委員奨励賞」を受賞しました。平成9年から阿南市を中心に活動する同合唱団は、大会選考委員の木下牧子さんが作曲した2曲を指揮者なしのアカペラで披露。繊細で温かいハーモニーが評価されました。同合唱団代表の久米田美和子さんは、「木下先生からの奨励賞をいただき、私たちの合唱を作曲者ご本人が認めてくださったように感じて幸せでした」と喜びをかみしめていました。（写真提供：大阪フォトサービス 加藤 保）